

公共用水域水質測定結果について(平成 19 年度)



環境省は、平成 19 年度に国、及び地方公共団体が水質汚濁防止法に基づき実施した、公共用水域の水質測定結果を集計し、全国の公共用水域水質測定結果を取りまとめました。

その中で、健康項目 26 項目の環境基準達成率は 99.1%であり、ほとんどの地点で環境基準を達成している状況でした。

また、生活環境項目では、有機汚濁の代表的な水質指標である BOD 又は COD の環境基準達成率は全体では 85.8%となり、前年対比 0.5 ポイント低下となりました。河川、湖沼、海域ごとにみると、河川で 90.0% (前年対比 1.2 ポイント低下)、湖沼で 50.3% (前年対比 5.3 ポイント低下)、海域で 78.7% (前年対比 4.2 ポイント上昇) でした。河川では改善が進んできており、前年度と同程度の水準となっています。また、湖沼では依然として達成率が低い状況にありますが、海域では達成率が 2 年ぶりに上昇していました。

さらに、全窒素及び全燐の環境基準達成率は、湖沼においては 46.4% (前年対比 0.5 ポイント上昇) となっており、依然として低い水準で推移しています。また、海域においては 82.2% (前年対比 1.9 ポイント上昇) となっています。

当社では、生活環境項目や他の排水分析において長年の実績があり、多検体・短納期分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2008 年 11 月 19 日付 環境省報道発表資料

水質分析箇所 小林優香